

公開文学鼎談

直木賞作家

大島真寿美さんに訊く

「名古屋生まれの作家が名古屋を書く」
『ツタよ、ツタ』にも触れて――

訊き手・加古淑（小学館）、三田村博史



©古川義高

大島真寿美（おおしまますみ）さん

1962年、愛知県名古屋市生まれ。愛知県立昭和高校を経て南山短期大学人間関係科卒。1992年「春の手品師」で第74回文学界新人賞を受賞しデビュー。2012年『ピエタ』で第9回本屋大賞第3位。2019年『渦妹背山婦女庭訓 魂結び』で第161回直木三十五賞受賞。著書に『ほどけるとける』『虹色天気雨』『戦友の恋』『それでも彼女は歩きつづける』『あなたの本当の人生は』『空に牡丹』『ツタよ、ツタ』『モモコとうさぎ』など。新作には『結妹背山婦女庭訓 波模様』

日時／ 令和4年6月19日（日） 午後3時～4時30分

会場／ ルブラ王山（名古屋市千種区覚王山通8-18 電話052-762-3151）
地下鉄東山線「池下」②番出口から徒歩3分

会費／ 1,000円（学生無料）・一般来場者歓迎

鼎談後、著書へのサイン会もあります

●お問い合わせ／

中部ペンクラブ事務局・電話052-752-3033 FAX052-752-3011
〒464-0067 名古屋市千種区池下1-4-17 オクト王子ビル6階 B室

後援／ 愛知県・名古屋市・愛知芸術文化協会（ANET）

ANET
愛知芸術文化協会
創立30周年
ANNIVERSARY

主催／中部ペンクラブ